

農業・町民生活を守る緊急対策を急ぐべきではないか

町長 財政的な問題がある。
町民のためになる政策を考えていく



かすが たかし
春日 隆司 議員

農業への緊急対策

質問

5月に実態調査の実施から、独自の緊急対策を講じられませんか。

町長 独りが素晴らしいわけではなく、農協構成町村の考え方や整合を図りながら、今後進めていきます。

再質問 下川の農業を守り抜く決意を伺います。

町長 実態の把握と調査を行い、今後、成果の上がる支援を考えていきます。

再質問 農業担い手が定着できるよう、庁舎内の欠員を補充し、体制を整備できないでしょうか。

町長 新規就農予定者を支えていける体制を整備していきます。

再質問 下川の農業とSDGsの関係はどのように考えていますか。

町長 今、作る責任が非常に課せられてきています。

再質問 厳しい状況下、作る人の家計を守る、守り続けるというのが町の農業におけるSDGsだと思います。

町民生活への緊急対策

質問 国・道の施策をまねるのでなく、町民生活を守り抜く緊急対策を講じられませんか。

町長 財政上の問題がありま

す。浄水場事業、広域中間処理施設などがあり、町民のためになる施策を考えいきます。

再質問 町長1期目の10億円借金増、3億円基金取崩しが尾を引いています。町民サービスを低下させないため、お金を稼ぎ、生活が困窮している実態に応じて、早急に支援する必要あります。

町長 公約の「幸せ人口を増やす」原点に返っていただきたいと思えます。

町長 優先順位を考えながら、国や道の支援に町も準じながら考えます。提案があれば具体的に聞かせてほしいと思えます。

再質問 私、議会からも提案しています。聞く耳を持って政策に反映していただきたいと思えます。

不祥事の検証・再発防止

質問

職員の懲戒免職という非常に重い事件を受け、

他自治体の事例からも、原因究明、検証、再発防止計画をたてる必要があります。

町長 原因・要因について究明できています。倫理観や法令遵守に努めます。

再質問 タウンプロは任意団体。これまで2億5,000万円以上公金を出費して

います。通帳と印鑑を一緒に管理していませんか。出納を通すことや、監査する必要はありませんか。

町長 決裁手続きの面で、非常に安易なところもあるかもしれませんが、調査し、今後、最良方法を示していきます。

公共事業発注のあり方

質問 名寄市は指針を定めています。公正な入札などの問題です。入札を総合評価制度にし、外部評価も入れる。1社が全部事業を受けることがなくなり。小規模事業者も育成し、技術者を確保していく。地域全体がよくなっていく。行革で考えていただきたいと思えます。

町長 外部の人で行革推進委員会を設置しています。外からの様々な意見提案などを

ただくことになっていきます。

再質問 町単費の公共事業は環境負荷を計算し、負荷を相殺するなど、環境負荷をかけない発注をしていただきたいと思えます。

町長 どういう方法があるか検討課題の一つにしていきたい

です。

根拠に基づく施策

質問 データを整理することで課題が見えます。データ根拠に基づく政策立案のためデータ整理をして、活用していただきたいと思えます。

町長 企業経営時、議員、首長になるまでデータは非常に必要な根拠であると考えていました。過去・現在のデータは非常に求められます。

残任期間の決意

質問 下川町を守り抜く、生活を守り抜く。残された期間の決意を伺います。

町長 過去の様々な努力をしつかりと引き継ぎ、住みやすい、住み続けられる、誰一人取り残されない、まちづくりを進めていきます。